

## 平成26年(2014年)の主な気象災害(1)

期日・期間	現象名	気象概況	被害状況
2月7日～8日	大雪 着雪	四国の南海上を低気圧が発達しながら北東に進み、南部を中心に大雪となった。	大雪の影響で南部の交通機関が大幅に混乱した。JR伯備線、赤穂線、山陽本線、宇野線、吉備線、本四備讃線と併せて運休が148本、遅延が418本発生した。8日0時～15時までの間、県内で交通事故が多発し、一般道で298件のスリップ事故が発生、うち人身事故は25件あり34人が軽傷を負った。県内の高速道路は午前9時までにはほぼ全線で通行止めとなり、スリップ事故は29件あったが、負傷者はなかった。さらに、岡山市内の路面電車も積雪の影響で昼頃までの約2時間運転を見合わせた。岡山空港では午前6時15分に滑走路を閉鎖し、岡山発着の東京、札幌便が計20便欠航、沖縄、ソウル、上海行きは計5便が最大6時間遅れで発着した。また、8日午前2時55分から県内で停電が相次ぎ、延べ3,589戸で約1～6時間停電した。なお、県内の各消防局に入った情報によると、雪による転倒で22人が緊急搬送(軽傷)された。
2月27日～28日	濃霧	湿った空気が流入し、局地的に濃霧が発生した。	27日夜から局地的に発生した濃霧により、岡山空港では岡山－札幌便、岡山－上海便の2便が視界不良で着陸できず、欠航した。また、海上では新岡山港－土庄港間のフェリー2便が遅れが発生した。
3月23日	その他(風)	高気圧に覆われていた。	23日午後1時ごろ、岡山県矢掛町の小田川河川敷で突風が吹き、イベント会場のテントが飛ばされ男女9人がけがをし、うち2人は骨折のけがを負った。
6月7日～9日	強雨	7日～9日にかけて、気圧の谷と湿った空気の影響で、各日とも午後から大気の状態が不安定となり、局地的な強雨となった。	短時間強雨により、7日はJR芸備線の野馳駅－内名駅(広島県)間で降雨による規制のため運転を見合わせ、運休3本、遅延1本が発生し、8日は同線の備中神代駅－野馳駅間の運転見合わせにより、遅延2本が発生した。9日はJR姫新線の月田駅－岩山駅間の運転見合わせにより、運休2本、遅延5本が発生した他、真庭市美甘の民家1棟で床下浸水が発生した。
6月12日	強雨	上空の寒気と湿った気流の影響で大気の状態が不安定となり、局地的な強雨となった。	短時間強雨により、JR因美線、JR姫新線、JR津山線、JR伯備線、JR芸備線と併せて降雨による規制のため運転を見合わせ、のべ運休24本、遅延74本が発生した。
7月7日	雷	梅雨前線が活動を強めながら山陰沿岸まで北上したため、局地的に雷を伴う強雨となった。	JR伯備線の倉敷駅－清音駅間の踏切施設に落雷があり、列車5本に遅延が発生した。また、落雷により、倉敷市真備で470戸、岡山市中区と東区併せて1,900戸で停電が発生した。(2014年8月11日現在 JR西日本岡山支社 中国電力岡山支社調べ)
7月10日	強風 波浪	9日夜から10日にかけて、台風第8号が九州南部から四国南岸、紀伊半島を東北東に進んだため、海上を中心に強風が吹いた。	強風により、笠岡市・玉野市・岡山市・備前市の定期船(フェリー、旅客船)が始発から運行を見合わせ、計20便が欠航した。(2014年8月12日現在 山陽新聞 瀬戸内観光汽船調べ)
7月19日～20日	強雨 雷	湿った空気や上空寒気の影響で大気の状態が不安定となり、局地的に雷を伴う強雨となった。	短時間強雨により19日は鏡野町で町道法面が崩れ(2ヶ所:通行規制なし)、JR津山線では降雨による規制のため運転を見合わせ運休、遅延が発生した。20日は岡山市津島笹が瀬の市道が陥没し、全面通行止めとなった。また、岡山市大元では2棟で床下浸水が発生し、岡山市北区では2,600戸で停電が発生した。JR津山線、JR吉備線と併せて降雨による規制のため運転を見合わせ、同日併せて運休6本、遅延35本が発生した。(2014年8月11日現在 岡山県危機管理課 JR西日本岡山支社 中国電力岡山支社調べ)
8月6日	強雨	暖かく湿った空気が流入し大気の状態が不安定となり、局地的に雷を伴う強雨となった。	強雨により、井原市の市道で法面が崩れ全面通行止めとなった他、JR芸備線(内名－備後落合間)とJR姫新線(林野－美作大崎間)で降雨による運転規制のため運転を見合わせ、運休6本、遅延4本が発生した。(2014年9月14日現在 岡山県危機管理課、JR西日本岡山支社調べ)
8月9日～10日	大雨 高潮 強風 波浪	台風第11号が西日本を縦断したため、県内では強風や大雨となり、沿岸では台風通過と満潮が重なり高潮となった。	高潮により、瀬戸内市で床下浸水が62棟、非住家浸水が6棟発生した他、県道3ヶ所で道路冠水(全面通行止め)が発生した。大雨による被害では、瀬戸内市(前島)で市道の法面崩壊、勝央町で町道の路肩崩壊、真庭市で道路陥没が合わせて7ヶ所発生した他、真庭市では住家の宅地内擁壁が河川内に水没(損壊)した。交通機関では在来線10路線が10日始発から運転を見合わせ計338本が運休した他、岡山空港では午前中に2便が欠航し、21本の便に最大1時間20分の遅れが発生した。瀬戸内海の島々を結ぶフェリーは計14便欠航し、瀬戸中央自動車道(児島－坂出間)では上下線が通行止めとなった。この他、強風による送電線混線で岡山市、倉敷市等の6市で計2,400戸停電した。岡山県の被害まとめによると、農林水産関係の被害額は1,682万円であった。(2014年9月14日現在 岡山県危機管理課、山陽新聞、中国電力岡山支社、JR西日本岡山支社調べ)
8月15日～18日	大雨 強雨 雷	15日～18日にかけて、西日本に停滞する前線に向かって湿った空気が流入し大気の状態が不安定となり、局地的に雷を伴う強雨となった。	短時間強雨により、16日～17日にかけて真庭市を中心に3市1村で法面崩壊や道路損壊が発生し、9ヶ所で全面通行止めとなった他、真庭市で床下浸水1棟、道路冠水1ヶ所(全面通行止め)、田の冠水1ヶ所があった。高梁市では2ヶ所で道路への落石があった。15日はJR芸備線(内名－野馳間)とJR姫新線(林野－美作大崎間)で降雨による運転規制のため運転を見合わせ、運休4本、遅延5本が、16日はJR伯備線(備中河内－上石見間)、JR姫新線(久世－新見間)、JR山陽本線(三石－熊山間)、JR因美線(智頭－高野間)、JR芸備線(備中神代－道後山間)で運休25本、遅延81本が、17日はJR因美線(智頭－那岐間)で遅延8本、18日はJR姫新線(林野－美作大崎間)で遅延5本がそれぞれ発生した。16日にはJR伯備線の石蟹駅構内で出発信号機に落雷があり、遅延1本が発生した。(2014年9月14日現在 岡山県危機管理課、JR西日本岡山支社調べ)
8月22日	強雨	暖かく湿った空気が流入し大気の状態が不安定となり、局地的な強雨となった。	短時間強雨により、井原市の市道2ヶ所で法面が崩れ全面通行止めとなった他、床下浸水が2棟発生した。高梁市では崩土と落石により2ヶ所で全面通行止めとなった。JR因美線(那岐－高野間)とJR姫新線(美作大崎－院庄間)、JR伯備線(備中広瀬－備中川面間)で降雨による運転規制のため運転を見合わせ、運休3本、遅延30本が発生した。(2014年9月16日現在 岡山県危機管理課、JR西日本岡山支社調べ)
8月23日	強雨	上空の寒気や暖かく湿った空気が流入し大気の状態が不安定となり、局地的な強雨となった。	短時間強雨により、真庭市の県道市道4ヶ所で法面が崩れ、1ヶ所で全面通行止めとなった。JR姫新線(久世－岩山間)とJR伯備線(備中神代－上石見間)で降雨による運転規制のため運転を見合わせ、運休4本、遅延23本が発生した。(2014年9月14日現在 岡山県危機管理課、JR西日本岡山支社調べ)

## 平成26年(2014年)の主な気象災害(2)

期日・期間	現象名	気象概況	被害状況
8月24日～26日	大雨 強雨	24日～26日ははじめにかけて、山陰沖の停滞前線に向かって暖かく湿った空気が流入し、大気の状態が不安定となり、局地的な強雨となった。26日の日中には日本海の低気圧から延びる寒冷前線が中国地方を通過した。	24日～26日にかけて井原市を中心に3市1町1村で法面崩土や道路損壊が発生し、5ヶ所で全面通行止めとなった他、倉敷市で床下浸水が2棟あった。25日はJR因美線(智頭-高野間)で降雨による運転規制のため運転を見合わせ、運休7本、遅延14本が発生した。 25日14時35分頃、玉島市の道口川(水深約2m)にかかる道路(長さ約100m、幅約2.4m)中央付近から男性が川に落ち水死した。当時は川の上流付近で局地的な強雨があり、雨の影響などで水かさが増し、道路が冠水していた。(2014年9月16日現在 岡山県危機管理課 山陽新聞 JR西日本岡山支社調べ)
9月4日～5日	強雨	暖かく湿った空気が流入し大気の状態が不安定となり、局地的な強雨となった。	短時間強雨により、JR芸備線(道後山-備後落合間)、JR伯備線(日羽-備中広瀬間)、JR姫新線(月田-院庄間)、JR因美線(高野-那岐間)、JR赤穂線(伊部-日生間)で降雨による運転規制のため運転を見合わせ、併せて運休12本、遅延69本が発生した。(2014年10月2日現在 JR西日本岡山支社調べ)
9月6日～7日	竜巻 強風 強雨	停滞前線に向かって、暖かく湿った空気が流入し大気の状態が非常に不安定となり、局地的に雷を伴う突風や強雨が発生した。	6日16時頃、赤磐市稗田付近で竜巻とみられる突風により、住家の屋根瓦約20枚が飛散し、稲の倒伏などの被害も発生した。さらに、赤磐市上仁保でも突風により、ガラス温室1棟のガラスがおおよそ20m飛ばされたが、作物に被害はなかった(収穫後のため)。一方、短時間強雨により、JR津山線(建部-小原間)とJR山陽本線(吉永-東岡山間)、JR赤穂線(日生-伊部)で降雨による運転規制のため運転を見合わせ、併せて運休23本、遅延54本が発生した。(2014年10月2日現在 岡山警察本部、赤磐警察署、岡山県危機管理課、JR西日本岡山支社調べ)
9月11日	強雨	湿った空気や上空寒気の影響で大気の状態が不安定となり、局地的に雷を伴う強雨となった。	短時間強雨により、倉敷市児島で家屋1棟が床上浸水(ノリアフリー住宅)した。(2014年9月12日現在 岡山県危機管理課、児島消防署調べ)
10月5日～6日	強風 波浪	台風第18号が5日夜から6日早朝にかけて四国の南海上、紀伊半島沖を北東に進んだため、県内では強風となった。また、奈義町などでは広戸風とみられる暴風が吹いた。	強風により、交通機関ではJR因美線(東津山-智頭間)が始発から運転を見合わせ、運休6本、遅延2本が発生したほか、岡山空港では岡山発着の東京・グアム便の計12便が欠航し、東京・上海便の2便に最大約3時間の遅れが発生した。海上交通では旅客船やフェリーにも一部欠航が発生した。この他、岡山市、津山市、奈義町など8市町で約12,400戸が停電となった。岡山県の被害まとめによると、農業関係の被害額(広戸風による)は1,243万円であった。(2014年11月6日現在 岡山県危機管理課、山陽新聞、中国電力岡山支社、JR西日本岡山支社調べ)
10月13日～14日	強風 波浪 強雨 大雨	台風第19号が13日朝から夜にかけて九州、四国、近畿地方を縦断したため、県内では強風や局地的な強雨となった。また、奈義町などでは広戸風とみられる暴風が吹いた。	強風により、瀬戸内市では公共施設の屋根の一部が破損し、岡山市中区でもカーブミラーの破損があった他、奈義町、津山市、勝央町を中心にのべ約3,900戸で停電となった。交通機関ではJR岡山支社管轄の10路線で13日15時以降運転を見合わせ、640本の列車が運休となった他、岡山空港では13日に岡山発着の東京・札幌・上海・ソウルの計6便が欠航し、14日は折り返しの東京・札幌便の2便が欠航、上海・ソウル便の2便に最大約1時間45分の遅れが発生した。海上交通では13日は旅客船やフェリーに欠航が発生した。また、14日朝にかけて、風による運転規制や倒木により、JR伯備線、JR姫新線、JR宇野線、JR因美線と併せて10本の列車に遅延が発生した。この他、13日は強雨により倉敷市本見で床下浸水が1棟発生した。岡山県の被害まとめによると、農畜水産物関係の被害額は3,421万円であった。(2014年11月6日現在 岡山県危機管理課、山陽新聞、中国電力岡山支社、JR西日本岡山支社調べ)
11月11日	濃霧	高気圧に覆われ、局地的に放射霧が発生した。	11日午前6時50分頃、JR山陽本線の吉永駅-瀬戸駅間で局地的に濃霧が発生し一時運転を見合わせた。また、この影響で6本の列車に遅延が発生した。(2014年12月2日現在 JR西日本岡山支社調べ)
11月27日	濃霧	高気圧に覆われ、局地的に放射霧が発生した。	27日午前6時30分頃、JR山陽本線の三石駅-瀬戸駅間で局地的に濃霧が発生し一時運転を見合わせた。また、この影響で17本の列車に遅延が発生した。(2014年12月2日現在 JR西日本岡山支社調べ)